

**財団法人京都ボーイスカウト振興会**  
**平成 24 年度（平成 24 年 4 月 1 日から平成 24 年 7 月 1 日）**  
**事業報告**

1. 総括

京都ボーイスカウト振興会は公益法人制度改革に伴い、平成 24 年 7 月 2 日付けで一般財団法人への移行が完了致しました。そのため、平成 24 年 4 月 1 日から平成 24 年 7 月 1 日までの会計期間は、旧財団法人における最後の事業報告となります。

平成 24 年 7 月 2 日からは、一般財団法人の新体制のもと、(1)ボーイスカウト行事等に対する助成協力事業、(2)青少年の育成を目的とした自然体験活動のためのキャンプ企画事業、(3)国際交流・国際貢献活動、社会に役立つ事業活動、環境・まち美化活動のための共催事業、(4)ボーイスカウト運動の振興及び普及宣伝事業を実施し、京都府下のボーイスカウト運動を振興し、もって、青少年の品性の向上および国際友愛の精神の育成を図ることを使命としております。

当会計期間における主な事業内容については、ボーイスカウト行事等に対する助成協力事業として、日本ボーイスカウト京都連盟が行う京都キャンポリーへの助成協力として、1,000 千円の支出を予定しております。

また、青少年の育成を目的とした自然体験活動のためのキャンプ企画事業の一環として、広河原野営場に馬酔木 300 本の植樹（270 千円の支出）並びに京都西ロータリークラブからのトイレ及びシャワー施設の寄贈が行われ、衛生面等に配慮した野営場の整備が実施されました。なお、野営場の使用状況については、上記の整備が整うまで使用できなかったこと、例年春に実施されていた講習・研修等が秋に開催されることになったことから、山開きの 2 日間、のべ人数 35 名の使用実績となっています。

2. 一般財団法人における新体制への移行までの具体的な手続及び活動内容

平成 24 年 3 月 30 日	移行認可申請書の提出
平成 24 年 4 月 16 日	審査開始
平成 24 年 4 月 23 日	答申書の受理
平成 24 年 5 月 7 日	補正申請書の提出
平成 24 年 5 月 19 日	評議員会及び理事会開催 新体制役員（理事及び監事）の選任
平成 24 年 5 月 20 日	最初の評議員選定委員会開催 新体制役員（評議員）の選任
平成 24 年 6 月 26 日	移行認可書の受理
平成 24 年 7 月 2 日	一般財団法人への名称変更にかかる登記申請
平成 24 年 7 月 5 日	登記完了

### 3. 事業報告の内容

#### (1) ボーイスカウト行事等に対する助成協力事業

##### (ア) 助成の対象

日本ボーイスカウト京都連盟

##### (イ) 助成の使途

第 59 回京都キャンポリーの開催に必要な経費

5 月 3 日から 6 日の 3 泊 4 日間、滋賀県希望が丘文化公園で開催。

小学 6 年生から中学 3 年生の「ボーイスカウト」と、この大会を支える指導者ら合計 600 名余が参加。また、このキャンポリーには、東日本大震災で被災した宮城県石巻市のスカウト仲間 12 名が招待されました。

##### (ウ) 助成予定

1,000 千円

#### (2) 青少年の育成を目的とした自然体験活動のためのキャンプ企画事業

##### (ア) 体験活動の所在地

広河原野営場：京都市左京区広河原尾花町 27 番地

(当法人所有：山林 22,559 平方メートル、原野 521 平方メートル)

##### (イ) 体験活動の運営主体

日本ボーイスカウト京都連盟

##### (ウ) 体験活動に参加した対象者、使用月日、使用人数等

対象者・使用者等	使用月日	使用人数	備考
山開き	4/7-8	35	イベント委員会
合計	2 日	のべ 35 名	

##### (エ) 自然体験活動を支える広河原野営場整備事業

###### ① 馬酔木 300 本の植樹

事業実績：270 千円

###### ② 京都西ライオンズクラブ（会長：中村三之助評議員）によるトイレ及びシャワー施設の寄贈（7 月 15 日寄贈式、工事費 5,000 千円相当）

洋式・泡洗浄式トイレの寄贈により、清潔で衛生面に配慮したトイレ施設が拡充された

###### ③ 広河原野営場近隣の舎営施設を取得するために、所有者との交渉過程にあります。

(3) ボーイスカウト運動の振興及び普及宣伝事業

- (ア) 地域の不特定多数の青少年に対するボーイスカウト運動の普及宣伝を図る事業として、ホームページを通じて、地域の青少年の参加を促しました。
- (イ) ボーイスカウト・指導者等のボーイスカウト関係者、維持会員、並びに不特定多数の皆様に対して、ホームページを通じて、当法人の事業計画等・京都連盟の事業計画等を適時に適切な範囲でディスクローズし、健全な運営を行いました。
- (ウ) ボーイスカウト運動の振興を図るために維持会員及び潜在的な維持会員に対して、ホームページを通じて、会費の協力を依頼しました。

(エ) 事業実績

109 千円

(ホームページ運営改革費 94 千円、通信運搬費 15 千円)

以上